

## ナレーション原稿

- N 「夢かなは、自分の人生という映画を撮る、  
そんな一歩を踏み出す通過点に過ぎない」
- N 「夢かなの歴史が始まったのは、コロナウイルスの影響で、  
世界中が未曾有の危機に包まれた2021年。  
緊急事態宣言が発表され、ソーシャルディスタンスによって、  
人と人に距離が生まれ、大切な人とも容易に会えなくなった時代。  
自分自身を振り返り、そして向き合う時間が増えた。  
そんなタイミングで夢かなはスタートした」
- N 「今年で4代目グランプリが決まる本コンテンツ。  
これまでの応募総数は1559名。  
自分の夢を叶えるべく、動き出した人たちを様々な形で応援してきた」
- N 「夢かな初代グランプリhoso。受賞後、株式会社HinaKaleを設立。  
現在はライター活動やデザイナー活動の他にも、  
イベントを中心としたメイクアップアーティストでも活躍している」
- N 「2021夢かなグランドファイナリスト、ちゃびさん。  
SNS総フォロワー数を抱えるインフルエンサーに成長。  
自身のありのままの姿や直向きな姿勢が反響を呼び、  
トレーニングや食事を通してメッセージを発信している」
- N 「夢かな2代目グランプリかれん。  
性教育に関する講演活動やプレジャーグッズなどを扱っているECサイトの運営、  
女性用風俗『Pleasure time』のプロデューサーなど、  
性に関する事業を多方面で展開。また、各SNSでは、  
正しい性知識を発信するインフルエンサーとしても活躍している」
- N 「今挙げた彼女達以外の出場者も、未来を変えようと、  
そして自分自身を変えようと活動し、光の線を描き続け、  
まさに発展途上にある」

- N 「本コンテストの選出方法」
- N 「グランドファイナリストの選出は、  
個人面談、グループワーク審査、ガイドブック販売数、  
出場者投票、運営票の合計ポイント数。  
そしてインスタグラムのいいね数とYouTubeの再生回数の上位者に  
ポイントが付与され、グランドファイナリストが決定する。  
グランプリは、先に述べた事前ポイント数の合計数と、  
大会本番当日に集計される審査員票が入り、その合計ポイント数で  
グランプリが決まる」
- N 「GDファイナリストに選ばれたものは、合宿や勉強会などを通じて、  
自身との戦いの日々を過ごす」
- N 「第1回目と第2回目のコンテストで実施された合宿では、  
他己紹介やストレングスファインダーを通して自分を理解したり、  
リーダーシップを学び、大会本番に向けて、更に自身の成長を  
ブラッシュアップさせる」
- N 「大会本番当日」
- N 「最終日は1人3分間のスピーチを行った後、プレゼンを行う」
- N 「緊張感が漂う舞台裏。  
各々スピーチの練習やイメージトレーニングを行いながら、自分の出番を待つ」
- N 「そして最終ステージでは、自分の夢などについてプレゼンを行う」
- N 「結果発表のとき」
- N 「第2回目以降は、グランプリだけではなく、審査員特別賞なども加わり、  
結果を残せるチャンスが広がった」
- N 「初代グランプリ hosoさん。  
2代目グランプリ かれんさん。  
3代目グランプリ 稲井美結さん。」

受賞者もそうでない者も、このコンテストに参加した女性達は  
大会終了後、自分の会社を設立する者、事業拡大を行う者、  
インフルエンサーになる者。  
自身への挑戦は終わることなく、今も尚輝き続けている」

N 「夢かなは、自分の人生という映画を撮る、  
そんな一歩を踏み出す通過点に過ぎない。  
しかし、実際に踏み出す人はどのくらいいるのだろうか」  
否定されたって、笑われたっていい。  
失敗こそ、自分の血となり肉となり骨となる。  
この世界はまだまだ知らない場所が沢山ある。  
一歩踏み出せば、人生は広がる。  
夢かなは、人生という長い旅路を彩る手段であり、目的地点ではない」

N 「今年のグランドファイナリストは19名。  
夢に向かって切磋琢磨してきた5ヶ月間。  
彼女達は、この5ヶ月間、何を吸収し、  
これからどんな道を歩いていくのだろうか。  
ここはあくまでスタートラインだ。  
そして再び、ゴールである夢へと  
大きく踏み出す瞬間がまたここに誕生する。  
果たして、グランプリを手にするのは一体誰なのか」

N 「Beauty Japan Virtual 夢は叶うと信じていますか。2024  
最終ステージの開幕です」